

英訳昔話

鳩の孝行、他2話

西田春彦

英訳昔話（鳩の孝行、他2話）

絵、文、訳：茜町春彦

原著者：柳田国男

第1話：鳩の孝行

第2話：時鳥の兄弟

第3話：時鳥と百舌

イラストは、全部で6枚です。

絵本
『鳩の孝行』

絵本『鳩の孝行』

昔むかし、ハトはヒネクレ者で、親の言い付けの反対の事ばかりしていました。

親は死に際に、山に葬られたかったのですが言うとは反対の事をするだろうと思って、河原に埋めてくれと言いました。

ハトは、親が死んでしまってから、改心をしました。そして墓を河原へ立てたのです。しかし、雨が降りそうになると、河原なので、墓が流されてしまわないかと心配し、悲しくなって、ハトは、親が恋しいと云って泣くのです。



漢文調
『鳩の孝行』

漢文調『鳩の孝行』

昔々、鳩は本当に拗げ者にて、全く親の言い付けを聞かざる子なりと云う。
親が、山へ行く可しと候えば田へ行き、田へ行く可しと候えば畑へ出でて働きたる。

親は、死に際に、静山に葬らるを欲せども、言い付けたと反対を成すと思うが故、川原へ埋める由、頼みて死す。

鳩、親の死に困りて、初めて親の言い付けを聞かぬは、悪しきと気付いたり。
然るに、此度は、其の言い付けに従いて、川原へ行きて、親の墓を建てたりと云う。

然し、川原なれば水の出る度、墓流るる事、気に掛かり、耐え難きなり。
其れが故、今猶、雨降る気配あれば、此事、思い儲くるの処、悲しくなりて、「ととぽっぽ」親が恋しきと、啼くなりと云う。

早くより、親の言い付けを聞き候らえば、善かりけり。

(能登)

Translation
"A dove's filial piety"

Translation "A dove's filial piety"

They say that once upon a time, a Dove was the crooked child, which did not obey its parent.

When the parent ordered the Dove to go to a hill, the Dove went to a rice field. When the parent ordered it to go to a rice field, it worked at a vegetable firm.

As the parent died, he asked the Dove to burry him at a riverside though he hoped to be burried at a calm hill. Because he thought that if he asked so, the Dove would do the opposite.

The Dove didn't know that it was bad not to obey the parent until the parent died. And so, that time, the Dove followed the parent's order, and made the parent's grave at a riverside.

However, the Dove was afraid that the grave might be washed away in a flood as it was in the riverside, whenever the river rose. And so, everytime it threatens to rain, the Dove reminds of this thing and become sad. And so, the dove sings, "Coo, coo! (Love, you!)"

The Dove had better obey the parent's order from a bit of earlier time.

(Tsugaru Province)

絵本
『時鳥の兄弟』

絵本 『時鳥の兄弟』

昔むかし、ホトトギスには善い弟がありました。

5月になると、弟は山芋を掘ってきて、煮て、一番おいしいところを兄に食べさせました。

しかし兄は、弟が更においしい山芋を食べているのだらうと、疑って憎んだすえに、包丁を持ち出して、弟を殺したのです。そのあと、弟の腹を裂いてみると、筋ばかりの芋ばかりが出てくるだけでした。

兄は後悔して悲しんでいるうちに、この鳥になったそうです。



漢文調
『時鳥の兄弟』

漢文調 『時鳥の兄弟』

昔々、時鳥に、甚だ親切、尚且つ、善き弟有りと云う。

毎年五月とならば、山に行きて、沢山の山芋を掘りて来て、煮て、最も美味なる処を、兄に食わしむ。

兄、其れを疑いて、弟が更に美味なる山芋を食すたりと思ひけり。

遂には憎みて、包丁を持ち来りて、其の優しき弟を殺したりと云う。

而して、弟の腹を裂いて見たるや、中より「あわた」なる筋ばかり多き芋、出ずるなり。

是は悪しき事を成したりと、後悔し悲しみたる間、遂に此の鳥になりけり、と云う。

故に、今になるも、山芋を掘る時節なりせば、啼きつつ方々を飛び廻るなり。

よく聞きおれば、彼の声は「弟、恋し、掘りて、煮て、食わしむ、弟恋し、芋掘って、食わしむ」と言いつつ啼くと云う。

(越中)

Translation
"Cuckoo Brothers"

Translation "Cuckoo Brothers"

They say that once upon a time, a Cuckoo had the very kind and good younger brother.

Every May, the Brother went and dug plenty of yams at a hill, and returned back and boiled them, and served the most delicious ones to the Cuckoo, which suspiciously thought that the Brother ate more delicious ones.

And, at last, the Cuckoo hatefully killed the tender Brother by a knife.

And then, as the Cuckoo lipped the Brother's belly, the yams with a lot of fiber called as "Stringy" appeared from the inner.

While the Cuckoo regreted having a bad thing, it became this bird at last.

And so, it flies and sings around and around, while the season of digging yams.

If you listen carefully, you know it sings as follows:

Brother lovely,

Dig, boil, and serve,

Brother lovely,

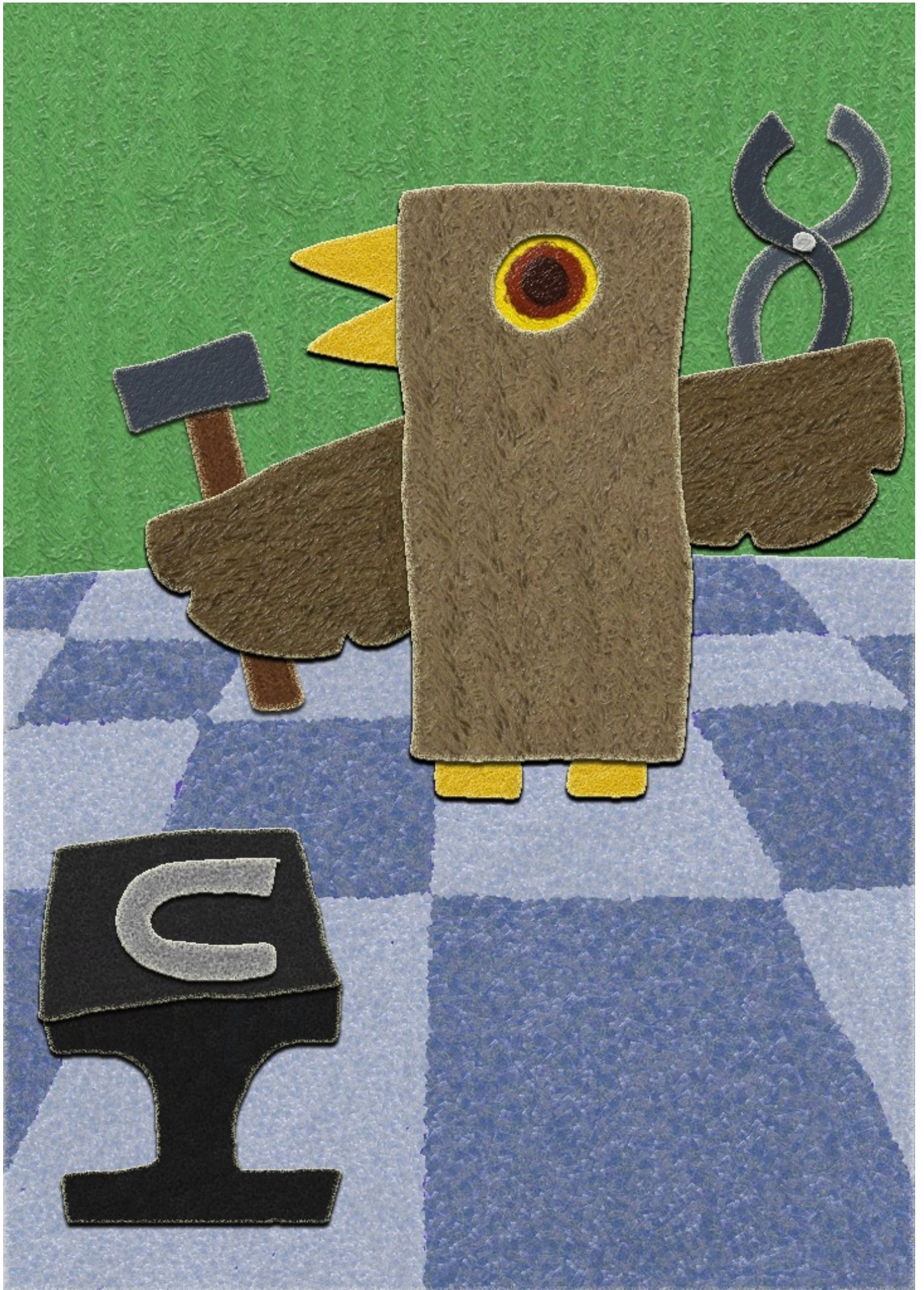
Dig and serve yams.

(Ettchu Province)

絵本
『時鳥と百舌』

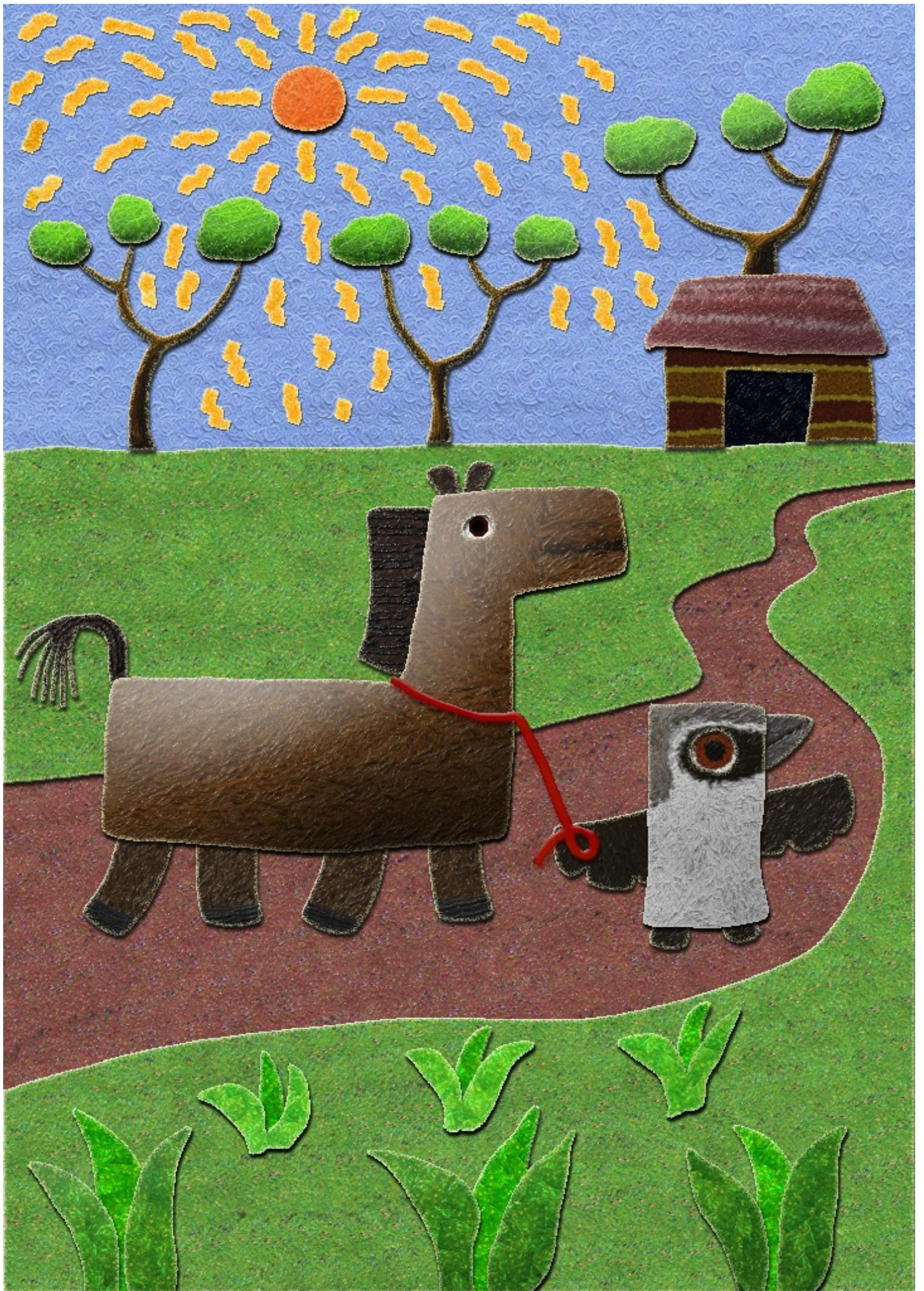
絵本『時鳥と百舌』

昔むかし、ホトトギスは馬の蹄鉄を作っていたそうです。



絵本『時鳥と百舌』

モズは馬方だったそうです。



絵本『時鳥と百舌』

モズはいつもホトトギスに蹄鉄を頼んでいましたが、代金を払いませんでした。それでホトトギスは「蹄鉄の代金はどうした」と鳴くのです。そしてモズは小虫を小枝に刺して置いてホトトギスの機嫌を取るのです。



絵本『時鳥と百舌』

別の話もあります。

むかし、モズはホトトギスの金を預かって、仏壇の仏様を買って来る約束をして置きながら、その金で酒を飲んでしまいました。ホトトギスが「本尊掛けたか」と鳴くのは催促をしているのです。

モズの顔が赤いのは酒を飲んだからとも言いますが、きまりが悪いからかも知れません。



漢文調
『時鳥と百舌』

漢文調 『時鳥と百舌』

昔々、時鳥、沓を作る職人なり、と云う話有り。

其の頃、百舌、馬方なりと云う。

百舌、時鳥に頼みて、毎度馬の沓を打たしむとも、其の代金は、払うこと無かりけり。

其れを覚えているが故、時鳥は何時迄も「沓の代は如何や」と言いて、啼くという。

而して、百舌は面目なき故、時鳥の出で啼く頃、何処かへ隠れたりて、少したりとも顔を出さず。

然りて、色々の小虫を木の小枝等へ刺し置きて、時鳥の機嫌を取ると云う。

(紀州那賀郡)

但し、次の話、有るが故、何れが正しきか不明なり。

昔、百舌、酒好きに困りて、時鳥の金を預かりて、御仏壇の仏様を買いたる約束を成し置き乍、其の金で酒を飲み終わりぬ。

時鳥、毎年、其の時期なれば「本尊掛けたか」と言いて啼くは、催促の為と云う。

百舌、其の如く言上せらるる由、困るが故、成る可く黙りて、出て来る処、無きが如し。

百舌の顔の赤しは、飲酒が為と雖も、事に困りては、決まりが悪し故と、知らざる可し。

(紀州有田郡)

Translation
"A Cuckoo and a Butcherbird "

Translation "A Cuckoo and a Butcherbird "

People say that once upon a time, a Cuckoo was a blacksmith.

Around that time, a Butcherbird was a packhorse man.

The Butcherbird asked the Cuckoo to make horse shoes every time. But the Butcherbird did not, nevertheless, pay the fees.

Cuckoos have remembered that thing ever since.

And so, they sing, "When will you pay?"

Butcherbirds are shamed of themselves.

And so, they hide somewhere and don't appear while the season of the cuckoo's singing.

And then, the butcherbirds try to please the cuckoos by piercing many kinds of worms at twigs, etc.

(Kishu Province Nagagun County)

But, other people told another story. So, I don't know very well which is true.

Once upon a time, the Butcherbird, which liked drinking, took money from the Cuckoo and promised the Cuckoo to go and buy a budha image for the budhaism altar.

But the butcherbird pocketed that money and drank.

And so, in such a season of every year, "Have you hooked the budha image?", cuckoos sing in order to press butcherbirds for payment.

The Butcherbirds are puzzled by such singing. And so, they silently keep themselves in as possible.

Moreover, it is said that the redness in the faces of the butcherbirds are caused by drinking.

But, that might be caused by awkwardness.

(Kishu Province Aritagun County)

後書き

『日本の昔話』について：

著者は柳田国男（1962年没）です。柳田国男氏自身が述べているように『日本の昔話』は全国から集めた話なので、創作性の観点から著作権は元々発生していないと思いますが、仮に著作権が発生していたとしても柳田国男氏の没後50年を経過していますので既に消滅しています。

著作権：消滅

CG画像について：

制作には次の画像処理ソフトウェアを使用しました。

ArtRage 3 Studio Pro（アンビエント社）

Photoshop Elements 10（アドビシステムズ株式会社）

参考文献について：

次の文献を参考にしました。

日本の昔話：平成17年10月25日36刷（新潮文庫）

漢文法基礎 本当にわかる漢文入門：2010年12月13日第4刷発行（講談社学術文庫）

ジーニアス英和辞典〈改訂版〉2色刷り：1994年4月1日改訂版初版発行（株式会社大修館書店）

新コンサイス和英辞典〈革装〉第3刷：昭和50年9月15日第1刷発行（株式会社三省堂）

実例英文法〈第4版〉：昭和63年6月第1刷発行（オックスフォード大学出版局：A.J. トムソン、A.V. マーティネット共著、江川泰一郎訳）

Longman Dictionary of American English: First printing 1983(Longman Inc.)

著者について：

茜町春彦（あかねまちはるひこ）と申します。

2004年より活動を始めたフリーランスのライター&イラストレーターです。作品が社会の進歩に多少なりとも寄与することを願いながら、日々制作を行なっています。

次回予定について：

『日本の昔話』の翻訳、若しくは絵本の創作を計画しております。

製品名等はメーカー等の登録商標等です。

本書は著作権法により保護されています。

（2013年 6月 茜町）

英訳昔話（鳩の孝行、他2話）

<http://p.booklog.jp/book/72942>

著者：茜町春彦

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/akaneharu/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/72942>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/72942>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ